

南部中学校
「学力向上実行プラン」

思考・行動の質を高めるための授業改善

福岡 史記

総括(学校長) 吉成 文敬
 委員(研修担当・主任) 矢野 耕資
 委員(主任) 鶴本 素子、蔭山 直子、若山 美果
 委員(研修担当) 金子 真規 委員(推進担当) 福岡 史記

吉成 文敬

学習のめあての提示・学習の振り返りを徹底し、授業改善に努める。

(1)知識・技能の習得

授業見学週間での相互評価、および生徒への実態アンケートの実施(昨年度実施)

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○単語や語句、簡単な技能はある程度習得できている。 ●思考を経た概念的知識や、手順を踏んで行う複合的なプロセスは、身につけているといえない。	・単語や語句、簡単な技能を習得できている。 ・概念的知識や、手順を踏んで行う複合的なプロセスも身につけることができる。	・単語や語句、簡単な技能の習得のために、補習や個別の課題などの支援を行う。 ・思考力、判断力、表現力等を発揮させることを通して、概念的知識や複合的なプロセスを身につけさせる			

児童生徒の状況(○よさ・●課題)

●読解力に課題がある。 ●考えるための技法を認識できていない。 ●習得した知識及び技能を実生活などに活かして、実践することができない。 ●思考して解答すべき問題は、正答を覚えていることが多い。	・読解力がある。 ・考えるための技法を教員と共有し、認識できる。 ・習得した知識及び技能を活かし、工夫して実践することができる。 ・既習事項や資料などから情報を得て、考えるための技法を働かせ、課題を解決することができる。	・授業や単元を通して一つの課題を追究するなど探究的な学習を取り入れる ・課題は「なぜ～？」のように学習する事柄を「関係づけ」たり、「理由づけ」たりするなど、考えるための技法を取り入れたものを増やす。 ・教科横断的に全ての教科で取り組むことをめざす。			
--	--	---	--	--	--

児童生徒の状況(○よさ・●課題)

●自ら課題を見つけたり、主体的に学んだりすることが十分できていない。教員の説明を受け身になって聞く生徒が多い。 ●自らの学習の過程を認識できていない。	・自ら課題を見つけ、主体的に学びとろうとする。 ・メタ認知を働かせ、自らの学びの過程を認識し、適切に修正しようとする。	・探究的な学習を設定し、探究の手順を学ばせる。 ・探究の手順を活かせるよう、単元の初めに課題を設定したり、単元末に探究を進めるなど、効果的な単元設計を行う。			
---	---	--	--	--	--

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
次年度の取組に向けた情報整理・素案の作成 	学力向上実行プラン作成	職員研修	授業実践		授業実践 ↓ ↓ ↓ 各教科 部会研修 授業見学 週間 意見交換 授業反映	プランの反省 成果の分析 プランの見直し	授業実践 ↓ ↓ ↓ 各教科 部会研修 授業見学 週間 意見交換 授業反映		研究授業 公開授業等	職員研修	プランの反省 成果の分析	学校評価 アンケートなど の実施	総括 次年度への 引継ぎ等	次年度に向けた情報整理・構想立案
			各種学力 調査分析	授業実践										